

地形

()年()組()番 氏名()

＊【 】は地図帳のページ数。
地図帳P.173～4に記載なし。

	地形の名称	地図中の番号	おもな特徴
①	(川)ラ		ドイツの重工業地域(ルール工業地帯)はこの川と支流の沿岸に位置。河口はオランダのユーロポート。ヨーロッパ内陸船舶交通の要の国際河川。【P.43】
2	(川)ド		ベオグラード、ブダペスト、プラチスラバ、ウィーンはいずれもこの川沿岸にある首都。黒海に注ぐ。ライン川とは運河でつながり、ヨーロッパを船で縦断可能。
3	(川)ティ		古代メソポタミア文明発祥の川。イラクの首都バグダッドはこの川の沿岸にある。
4	(川)イ		古代文明発祥の地。インドとパキスタンの2ヶ国にまたがる中流のパンジャブ地方は米、小麦、綿花の一大産地。
5	(川)ガ		ヴァラナシは仏教・ヒンドゥー教の聖地。ベンガル湾に注ぐ。河口のデルタ(三角州)地帯はサイクロンに伴う大雨や高潮によって大きな被害発生。
6	(川)メ		インドシナ半島を代表する川で多くの国を流れる国際河川。最上流は中国、河口はベトナム。沿岸は米の産地。
7	(川)黄		古代文明発祥の地で渤海(ぼっかい)に注ぐ。基本的に乾燥地域を流れ、中下流沿岸は小麦や綿花の産地。洛陽(らくよう)や開封(かいふう)はこの川の沿岸で古代王朝の都。
8	(川)長		河口は上海(シャンハイ)。中流の武漢(ウーハン)まで大型船が航行可能。上流には世界最大級のダムが建設。
9	(川)ナ		エチオピア高原とビクトリア湖に水源を持つ世界最長といわれるの川。河口は扇形の三角州で地中海に注ぐ。下流は古代文明発祥の地。沿岸のピラミッドは重要な観光資源。
10	(川)ミ		北アメリカ大陸中央部を南北に縦断。多くの支流を持つ。流域はかつてプレーリーとよばれる草原で肥沃な土壌が分布。小麦、大豆、トウモロコシの産地。
11	(川)ア		世界最大の流域面積の川。沿岸はセルバとよばれる熱帯雨林。かなり内陸まで大型船航行可能。牧場や農地、鉱産資源開発などによる熱帯林の破壊が心配されている。
12	(山脈)ア		最高峰はモンブラン山。イタリア・フランス・スイス・オーストリアを通る山脈。
13	(山脈)ピ		スペイン・フランスの国境の山脈。
14	(山脈)カ		この山脈を境に北はヨーロッパ、南はアジアに区分する山脈。
15	(山脈)ウ		この山脈を境に東はアジア、西はヨーロッパに区分する山脈。
16	(山脈)ヒ		最高峰はエベレスト山。インド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートの衝突により形成された山脈。
17	(山脈)テ		ヒマラヤ山脈形成と同時に再び隆起した山脈。この山脈の山麓にはユーラシア大陸を東西に結ぶ道が通過しているが、これは古代シルクロード。
18	(山脈)ロ		北アメリカ大陸西部を南北に縦断する山脈。この山脈からミシシッピ川の支流など多くの川が流出。
19	(山脈)ア		南アメリカ大陸西部を南北に縦断する山脈。古代文明がさかえるが、16世紀にスペイン人により滅亡。ジャガイモの原産地。
20	(山脈)ア		北アフリカのモロッコからチュニジアにかけて東西に伸びる。山脈の南北で気候(降水量)が大きく異なり、南部ほど乾燥する。
21	(山脈)グ		オーストラリア大陸東部を南北に縦断。山脈の東西で気候(降水量)が大きく異なり、西部ほど乾燥する。石炭の世界的産出地。
22	(高原)パ		ヒマラヤ・カラコルム・ティエンシャンなど多くの山脈がこの高原を起点に伸びていることから、別名「世界の屋根」。
23	(高原)チ		ヒマラヤ山脈とクンルン山脈に挟まれた高原。独特の仏教文化が発展した。ラサはこの高原地帯の中心都市。
24	(高原)デ		古い地質時代にできた溶岩台地を起源とする高原。インド綿花の一大産地。南部の都市バンガロールは世界有数のIT産業の集積地。
25	(高原)モ		乾燥・寒冷な高原。夏は気温が上がり降水量も多いので草原となる。馬や羊の遊牧。この高原の南部はゴビ砂漠。
②⑥	(盆地)タ		テンジャン・クンルン山脈にはさまれた盆地。盆地中央部はタクラマカン砂漠。近年、油田やガス田の開発が進み、中国にとって重要。【P.7】
27	(湖)カ		世界最大の湖。湖水は海水(塩分を含む)で塩湖(えんこ)。油田・ガス田が多数分布。ロシアの母なる川・ボルガ川はこの湖に注ぐ。キャピア。〇〇〇海。
28	(湖)ア		この湖に注ぐアム川・シル川の水を灌漑用水として利用する綿花の栽培がさかんになったことから、湖水が激減して消滅の危機にあったが、近年、湖の再生が進む。〇〇〇海。

	地形の名称	地図中の番号	おもな特徴
㉔	(湖) ヴィ		イギリス人探検家スプークが「発見」し、イギリス女王の名をとって命名。ナイル川の源流の一つになっている湖。【P.35】
30	(湖) バ		シベリアにある湖。水深が極めて深い。冬季は凍結し、自動車も通行可能。工業化等の影響で近年は汚染が進行。
㉑	(湖) 五		アメリカ合衆国・カナダの国境付近に位置する五つの大きな湖の総称。ミシガン湖の南側にはシカゴが位置。エリー湖とオンタリオ湖の間にはナイアガラ滝の滝。
32	(島) セ		イギリスの植民地時代に茶のプランテーション(大農場)が開かれたインド洋の島。
33	(島) ス		2004年に島の西側にある海溝を震源とする地震が発生。揺れと津波により大きな被害。津波被害はインド洋全域に拡大。オランダ植民地時代から油田開発。
34	(島) ジャ		ほとんどが山岳地域だが、人口密度は高い。ポロブドゥール遺跡。インドネシアの首都・ジャカルタはこの島にある。
㉕	(島) ミ		バナナのプランテーション。ここで生産されたバナナは日本などアジアに輸出。中心都市はダヴァオ。フィリピンはキリスト教カトリックが多いが、ここはイスラム教徒が多い。【P.22】
36	(島) マ		アフリカ大陸東岸のインド洋の島。紀元前、東南アジアの島々からインド洋を越えて渡ってきた人々の子孫が暮らしている。降水量の多い島の東側では稲作が行われている。
37	(島) タ		17世紀に到達したオランダ人タスマンから名付けられた。西部沿岸から山岳地域では偏西風の影響で降水量が多い。
38	(諸島) ハ		プレートの下からマグマが絶え間なく吹き上がる場所(ホットスポット)に位置する諸島。マウナケア山は4000m級の火山。マウイ島は日本人にもなじみのある観光地。
39	(諸島) ガ		エクアドル領で赤道上に位置する諸島。イギリス人科学者ダーウィンが進化論の着想を得た諸島として有名。
40	(海峡) ジ		地中海の大西洋への出口。イベリア半島とアフリカ大陸の最狭部に位置。イベリア半島側にはイギリス植民地、アフリカ大陸側にはスペイン植民地がある。
㉒	(海峡) ボ		黒海のエーゲ海(地中海)への出口。この海峡を境に西側がヨーロッパ、東側がアジア。トルコの大都市イスタンブールはこの海峡に面する。【P.37】
㉒	(海峡) ホ		ペルシア湾とオマーン湾の間の海峡。多くのタンカーが通過。最近、この海峡を通るタンカーが襲撃を事件が発生。海峡外側のアラビア海に自衛隊の艦船が派遣。【P.38】
㉓	(海峡) マ		マレー半島とスマトラ島の間に位置する海峡。多くのタンカーや貨物船が通過し、日本・韓国・中国にとって重要地点。【P.21】
44	(海) 大		南北アメリカ大陸東岸とユーラシア・アフリカ大陸西岸の間の大洋。この大洋上に浮かぶセントヘレナ島はナポレオンが流された島。
45	(海) イ		アフリカ大陸東岸と南アジア、東南アジア、オーストラリア大陸西岸の間の大洋。2004年のスマトラ島沖地震に伴う津波で沿岸は大きな被害を受けた。
46	(海) 太		東アジア、東南アジア東部、オーストラリア大陸東岸、南北アメリカ大陸西岸の間の大洋。横浜港の氷川丸はこの海を横断した貨客船。
47	(海) 北		北アメリカ大陸、ユーラシア大陸に囲まれた地中海の一つ。温暖化による氷の消失が大きな環境問題になっている。
48	(海) 南		東南アジアと中国南岸に囲まれた海。南沙(なんさ)群島周辺の海域には石油資源が豊富で、中国やベトナム、フィリピンなどの東南アジア諸国が領有をめぐり係争中。
49	(海) 北		スカンディナヴィア半島とグレートブリテン島の間の浅い海。浅い海にはプランクトンが豊富で漁業がさかん。1970年代から海底油田・ガス田の開発。
50	(海) カ		中央アメリカ、西インド諸島、南アメリカ大陸に囲まれた海。南アメリカ大陸北岸には油田。西インド諸島のサンサルバドル島はコロンブスの最初の上陸地。
51	(海) 紅		アフリカ大陸とアラビア半島の間の海。スエズ運河は地中海とこの海をつなぐヨーロッパとアジアの物流の重要地点。
52	(海) 黒		ボスポラス海峡よりも東の海。この海の南側はトルコ。ヨーロッパを代表するドナウ川はこの海に注ぐ。クリム(クリミア)半島は19世紀のクリミア戦争の主戦場。
53	(砂漠) サ		世界最大の砂漠。砂漠の南側はサヘルとよばれる草原。人口増加による経済開発によりサヘル砂漠は世界的な環境問題。
54	(砂漠) ル		アラビア半島は大半が砂漠だが、南部に位置する砂漠。北側はネフド砂漠。
55	(砂漠) ゴ		モンゴル高原の南部の砂漠。春先に日本に飛来する黄砂は、この砂漠やさらに西のタクラマカン砂漠などから偏西風に乗って運ばれた細かな土や鉱物。
56	(砂漠) グ		オーストラリア大陸内陸部は広く乾燥した土地が広がるが、そのうち南部に位置する砂漠。北側はグレートサンディー砂漠。